

第5回 柏市健康福祉審議会 市立病院事業検討専門分科会
市立柏病院のあり方(中間まとめ)

1. 市立柏病院のあり方を確認するためのキーワード

① 公立病院としてのあり方（小児二次救急医療）

「小児救急医療のような**不採算医療をやってこそ公立病院**の意義（第3回）」

「小児救急医療は重要だが、**医師の確保**いかん（第3回）」

「公立病院として継続すべきか、**疑問がある**（第3回）」

「**さまざまな経営主体の医療機関**が存在し切磋琢磨できる（第3回）」

「不採算な小児医療も**医療圏で解決**すればいい（第2回）」

市民アンケートでは、市立柏病院と民間病院は「役割が異なる」約34%、「変わらない」約22%

② 急性期医療と在宅復帰支援

「今後高齢者の救急搬送の急増が想定され、**急性期医療の体制整備が必須**（第2回）」

千葉県地域医療構想では急性期病床は過剰、回復期・慢性期が不足だが、民間病院の療養病床の増床意向あり（第4回）

「新公立病院ガイドライン等で医療機能は制約されるのでは？（第4回）」

医療と介護が総合的に確保されることを求めている（新公立病院改革ガイドライン）

③ 病院の規模と性格

「200床であり、公立病院であるが地域の一医療機関という存在（第3、4回）」

「入院・外来のバランスが偏り、**大きなクリニックのような状態**（第4回）」

「松戸市立病院とまったく同じ機能を市立柏病院が担うのは違和感がある（第4回）」

1. 市立柏病院のあり方を確認するためのキーワード

④医療機関の分布

「市立柏病院周辺地域や柏市東部、我孫子市西部は医療機関が不足しており、地域住民の課題となっている（第2回）」

「災害時、国道6号と16号で柏市が分断されるので**エリア内に病院**があるとよい（第3回）」

⑤医師の確保

「（市立柏病院では）派遣元医局とは、大きい規模で小児科を運営することを前提に医師派遣の話をしている（第3回）」

「**症例数が少なく経験を積みにくい市立柏病院では医師の確保は容易ではない**。他病院との連携や交通アクセスなど環境整備が必要である。（第3回）」

「200床なので特色のある病院にすることが魅力ある病院となる（第3回）」

⑥健全経営と市費負担

健全経営を続けるためには、**稼働率、入院収益の向上は必須**。（第4回）

「病院経営が黒字なら**政策医療交付金は不要では**。市民は理解しがたい（第4回）」

「政策医療交付金は、国の制度に則り不採算医療等に支出するもの（第4回）」

市民アンケートでは、**期待する役割を実現するなら「税金投入すべき」約45%、「税金投入は理解できるが最小限にすべき」約40%**

1. 市立柏病院のあり方を確認するためのキーワード

⑦機能と施設

「災害医療、感染症対策をはじめ、**求められる機能を果たしていくためには建物（施設）が追いついていない**（第3回）」

「ローコスト」「安物にいいものはない」「適正額であればよい」など、施設に対する費用の掛け方には様々な捉え方がある（第3回）

⑧柏市民にとっての市立柏病院

市民アンケートによると「**知らない22%**」そのうち「**ほとんど利用しない・まったく利用しない80%**」

利用する理由は、「近い」「かかりつけ」に次ぎ、「柏市の病院だから」約30%

利用しない理由は「自宅等から遠いから」がもっとも多く約65%

市立柏病院への期待「救急医療」約50%、「民間病院が受入れにくい患者を診ること」約30%、「小児医療など不採算医療」約27%

（市民アンケートより（第4回）

多くの市民に利用される市立柏病院になるべきである（第4回）

2. 公立病院としての意義 期待と課題

① 不採算医療（小児二次救急医療）の担い手

<背景>

- ・市内の小児科医・小児専用病床の不足、夜間・休日の小児二次救急体制の不足

<分科会の意見>

- (期待) ・不採算でリスクが高く、民間では担えない
- ・市立柏病院こそ担う役割

- (課題) ・小児救急に力を入れると言っても医師がいなければ実現できない
- ・柏市で完結するのは難しく、医療圏で解決すべき
 - ・現状を踏まえて、どの規模で何人の小児科医を配置すべきか検討が必要

<小児科診療所アンケート>

- ・「小児が入院できる二次病院が充実するとよい」が約 6 割、「市立柏病院に期待する」が約 5 割

<市民アンケート>

- ・市立柏病院に期待する役割として約 3 割が「小児救急医療など不採算医療」と回答

<市立柏病院の現状>

- ・入院病床はないが、将来的に整備する考えがあった
- ・将来大きな規模で小児科をやることを前提に医師が派遣されている

2. 公立病院としての意義 期待と課題

②政策と連動した医療（地域包括ケアシステム構築、地域医療構想の実現）

<背景>

- ・柏市が先駆的に進める地域包括ケアシステム
- ・千葉県地域医療構想において回復期、慢性期が不足

<分科会の意見>

- （期待）・超高齢化社会の中で先導的な役割を果たすことが必要
 - ・市立柏病院の救急医療、在宅医療、訪問看護を併せた政策医療を期待する
- （課題）・公立病院は地域医療構想の中で、病床機能の調整役が期待されている

<市民アンケート>

- ・市立柏病院に期待する役割として約 2 割が「在宅医療など」と回答

<市立柏病院の現状>

- ・急性期医療を担いつつ、10月から地域包括ケア病床を設置し、在宅復帰を支援
- ・介護老人保健施設「はみんぐ」や訪問看護ステーションを併設しており、今後連携を強化する
- ・千葉県とは適宜、情報共有を行い、県の医療政策の把握に努めている

2. 公立病院としての意義 期待と課題

③セーフティネットの役割

<背景>

- ・災害医療、感染症対策など、危機管理の側面からの医療の提供が求められている
- ・障害者医療など、医療を受けにくい患者の急性医療の受け皿が求められている

<分科会の意見>

- (期待) ・災害に対応できるスタッフの育成が重要であり、公立病院としての役割の一つ
 - ・過去の災害時を振り返っても、公立病院は最後の砦であった
- (課題) ・災害医療・感染症対策等、現在の建物は古すぎて対応できない
 - ・市立柏病院だけで担うのではなく、他の医療機関と連携して取り組むもの

<市民アンケート>

- ・市立柏病院に期待する役割として約 3 割が「民間病院では受けにくい患者の受入れ」、約 2 割が「予測できない緊急時に市民に安心を提供」と回答

<市立柏病院の現状>

- ・柏市の生活支援課、障害福祉課等と連携し、支援が必要な患者を受け入れ
- ・柏市医師会と連携した災害対策訓練を率先して実施

2. 公立病院としての意義 期待と課題

④医療の多様性の確保／これまでの貢献

<背景>

- ・平成5年に旧国立柏病院の有償移譲を受け、以後20年以上にわたり医療を提供
- ・一方で柏市は、慈恵大柏病院（三次病院）、国立がん研究センター東病院（国立の専門病院）のほか、多くの民間病院による医療が提供されている地域

<分科会の意見>

- （期待）
- ・すべて市場原理で民間病院だけが運営していても医療体制の不足が生じる
 - ・形態の異なる医療機関が切磋琢磨することが重要
 - ・公立でも指定管理であり経営的な工夫もされている。柏市に一つ公立病院があってよい
 - ・長く現地で医療を提供し、信頼されている
- （課題）
- ・本当に公立病院のままでよいのかまで含めて議論したい
 - ・ここまで補助金を入れる必要があるのか
 - ・多くの市民に利用される市立病院になるべきである

<市民アンケート>

- ・「市立柏病院を知っている」が約8割、うち「よく/ときどき利用している」が約2割
- ・利用する理由は、「近い」「かかりつけ」に次ぎ、「柏市の病院だから」が約3割
- ・「市民に必要な医療を提供し、相応額の税金を投入すべき」が約5割、「最小限にすべき」が約4割

<市立柏病院の現状>

- ・他の医療機関との連携しつつ、地域で求められる医療を提供している

3. 市立柏病院の機能

(1) 市立柏病院が担う2つの柱①

役割	背景とあり方（中間まとめ）
小児二次医療	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none">■柏市内では、東京慈恵会医科大学附属柏病院を中心とした小児救急の医療提供体制が構築されているが、市内需要に対して小児専用病床は不足しており、夜間・休日の小児医療体制の整備が不十分である。■柏市第五次総合計画に掲げるまちづくりの目標である「子どもを安心して産み育てられるまち」の実現のため、柏市の小児医療の現状と関係者の意見を踏まえ、柏市において小児二次医療の体制を充実させる必要がある。■現状では、東京慈恵会医科大学附属柏病院の負担が懸念されることから、市立柏病院を中心に、柏市全体で小児医療を充実させるという考え方が必要となっている。 <p>【あり方（中間まとめ）】</p> <ul style="list-style-type: none">■こうした背景から、市立柏病院は、小児二次医療に対応できる体制（24時間365日）を構築し、東京慈恵会医科大学附属柏病院による小児三次救急機能とともに、柏市の小児医療提供体制の充実に貢献する。■柏市内における小児専用病床の不足を解消するため、現在の小児科外来診療機能を維持しつつ、院内に小児患者が入院できる一定規模の病床を設置し、入院診療機能を新たに追加する。

3. 市立柏病院の機能

(1) 市立柏病院が担う2つの柱②

役割	背景とあり方（中間まとめ）
高齢化に対応した医療	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none">■今後、柏市内の高齢者人口の増加に合わせて、高齢者の救急搬送が大幅に増加することが予測される。■高齢者に多くみられる疾患としては、循環器系（脳血管系疾患含む）や整形外科系、呼吸器系等の疾患が挙げられるとともに、一つの疾患にとどまらず、いくつもの疾患をかかえているという高齢者の疾患の特徴を念頭においた診療体制構築が不可欠である。■急性期医療の提供に併せ、患者の症状や病態等に配慮しながら、在宅復帰に向けた必要な支援を行う体制も必要となっている。 <p>【あり方（中間まとめ）】</p> <ul style="list-style-type: none">■市立柏病院は、高齢化に対応した救急搬送の増加に対応するため、さらなる救急受入れ体制の拡充を図りながら、継続して二次救急を主体とした急性期医療を提供する。■高齢化社会における医療需要を考慮しながら、循環器系（脳血管系疾患含む）や整形外科系、呼吸器系等の急性期疾患に対応できるように、地域の医療機関等との連携強化や役割分担を進めながら、必要な診療機能の充実を図る。■高齢者は、軽度急性期疾患を発症しやすく、治りにくいことやADLが低下しやすいことから比較的長期入院となりやすい。このため、入院中に、リハビリテーションや退院支援を行いながら、患者のスムーズな在宅移行を推進するための機能として、院内の地域包括ケア病棟を積極的に活用する。

3. 市立柏病院の機能

(2) 市立柏病院の土台となる機能

役割	あり方（中間まとめ）
日常的疾患への対応	<p>【日常的疾患への対応】</p> <ul style="list-style-type: none">■市立柏病院は200床規模であり、急性期医療を軸とした地域の二次病院である。このことを踏まえ、市立柏病院は、疾病の大半を占める日常的疾患（糖尿病や肺炎、胃がん、大腸がん、骨折等）に対して最新の標準的医療を提供する。■地域において質が高く効率的な医療提供体制を構築するためには、医療機関相互の役割分担と連携を推進する必要がある。■こうした役割分担や連携には、地域医療を支えるかかりつけ医との信頼関係の醸成が不可欠であることから、市立柏病院は、紹介患者を優先した診療の実践やかかりつけ医とのコミュニケーション強化に取り組みながら、地域医療連携を積極的に推進する。
感染症・災害医療・障害者医療への対応	<p>【感染症対策・災害医療・障害者医療への対応】</p> <ul style="list-style-type: none">■市立柏病院は、災害や感染症の発生時に行政機関等と連携しながら速やかに対応できる体制を維持するために、これらに精通した医療従事者の確保・育成を進める。■現病院の施設や設備では、災害や感染医療で求められる役割に対して、十分に機能できないため、新病院の計画において、災害や感染症の発生時でも十分に診療機能を発揮できるように施設整備を行う。■柏市における障害者の医療需要増加も考慮し、障害者に配慮した施設・環境の整備や障害者医療に理解を深めた職員体制の整備を行う。

3. 市立柏病院の機能

(3) 市立柏病院を支える機能

役割	あり方（中間まとめ）
地域包括 ケアシステム	<ul style="list-style-type: none">■ 柏市が推進する在宅医療への取組みに対して、急性期医療に軸を置く病院としての立場から積極的に参画する。特に、在宅患者の急変時対応（バックアップ機能）を積極的に担う。■ 患者の在宅復帰を促し、在宅医療に適切につなげるため、在宅強化型の介護老人保健施設「はみんぐ」と連携しながら、患者状態に合わせたリハビリテーションを提供する。また、同時に訪問看護との連携や患者相談体制の充実等、患者退院支援機能の強化を図る。
健全経営	<ul style="list-style-type: none">■ 市立柏病院の決算状況は、経常黒字（一般会計による財政措置を含む）が継続しているが、新病院整備を考慮すると、多額の事業費が一時的に発生することから、事業費発生に伴う企業債償還や支払利息、減価償却費の増大といった経営的なリスクを念頭に置いた経営計画の策定が求められる。■ 市立柏病院が、今後も柏市の医療や介護等を支えていくためには、新病院開院後も安定した病院経営を継続する必要がある、経営計画において、事業費の縮減やさらなる収益性の向上、経費削減は必須事項である。■ 特に、収益性の観点で言えば、市立柏病院の病床利用率は70%程度と低い状況であることから、急性期病院として、病床利用率の向上による入院機能を中心とした収益性の向上に取り組んでいく必要がある。